

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年7月21日(2016.7.21)

【公表番号】特表2015-524397(P2015-524397A)

【公表日】平成27年8月24日(2015.8.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-053

【出願番号】特願2015-521912(P2015-521912)

【国際特許分類】

A 6 1 K	45/00	(2006.01)
C 1 2 Q	1/68	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/4745	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	45/00	
C 1 2 Q	1/68	Z N A
A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	31/4745	

【手続補正書】

【提出日】平成28年5月31日(2016.5.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腫瘍による1つ又は複数の遺伝子の発現を検出するインピトロの方法であって、  
該遺伝子は、そのプロモーター中にIRF7結合部位を含み、  
対応する非転移性腫瘍における該遺伝子の発現レベルに対する該遺伝子の発現レベルの  
低下が該腫瘍の転移性表現型を示す、上記方法。

【請求項2】

前記遺伝子が表1に列挙した遺伝子から選択される、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

少なくとも10遺伝子、少なくとも20遺伝子、少なくとも30遺伝子、少なくとも40遺伝子、少なくとも50遺伝子、少なくとも60遺伝子、少なくとも70遺伝子、少なくとも80遺伝子、少なくとも90遺伝子、少なくとも100遺伝子、少なくとも110遺伝子、少なくとも120遺伝子、少なくとも130遺伝子、少なくとも140遺伝子、少なくとも150遺伝子、少なくとも160遺伝子、少なくとも170遺伝子、少なくとも180遺伝子、少なくとも190遺伝子、少なくとも200遺伝子、又は少なくとも208遺伝子についてスクリーニングすることを含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項4】

表2から選択される1つ又は複数の遺伝子についてスクリーニングすることを含む、請求項1又は2に記載の方法。

【請求項5】

表2に列挙した遺伝子の全部についてスクリーニングすることを含む、請求項4に記載の方法。

**【請求項6】**

- (i) I F I T M 3、T L R 3、I R F 7 及び I L 1 3 R A 1 について、
- (i i) C A L D 1、R U N X 1、Y W H A Z 及び H B E G F について、
- (i i i) I L 1 3 R A 1、C S F 2 R B、S T A T 1、C D 4 4、I R F 7、I F I 4 4、T L R 3 及び I F I T M 3 について、
- (i v) I L 1 3 R A 1、C D 8 6、C S F 2 R B、S T A T 1、C D 4 4、I R F 7、I F I 4 4、T L R 3、I E R 3、I F I T M 3、R U N X 3 及び C T S S について、
- (v) I F I 4 4、I R F 7、C S F 2 R B、S T A T 1、T L R 3、I L 1 3 R A 1 及び I F I T M 3 について、
- (v i) I F I 4 4、I R F 7、C S F 2 R B、S T A T 1、T L R 3、I F I 2 0 2 B、I E R 3、R U N X 3、C T S S、I L 1 3 R A 1、I F I T M 3 及び C D 8 6 について、
- (v i i) R U N X 1、S Q L E、P D X K、Y W H A Z、D D X 3 X、R B B P 4、H B E G F、D A B 2 及び F A M 1 2 0 A について、
- (v i i i) R U N X 1、S Q L E、P D X K、H N M T、C A L D 1、Y W H A Z、D D X 3 X、R B B P 4、T H B S 1、H B E G F、D A B 2 及び F A M 1 2 0 A について、
- (i x) P T P R K 及び S L C 6 A 6 について、
- (x) C S D E 1、A T P 6 V 1 B 2、P T P R K、L G M N、C X C L 9、T G I F 1、N I P A 2、S L C 6 A 6、A R G 1、C F P、C T S H 及び A C S L 4 について、或いは
- (x i) D H X 5 8、B S T 2、I F I 4 4、I F I T 3、I R F 7、S T A T 1、D S P 及び U S P 1 8 について、

スクリーニングすることを含む、請求項1又は2に記載の方法。

**【請求項7】**

1つ又は複数の追加の遺伝子マークーについてスクリーニングすることを含む、請求項1から5までのいずれか一項に記載の方法。

**【請求項8】**

R N A 転写産物又はそれから転写されるc D N A のいずれかについて、或いはタンパク質発現産物についてスクリーニングすることを対象とする、請求項1から7までのいずれか一項に記載の方法。

**【請求項9】**

腫瘍におけるI R F 7、I R F 9 又はS T A T 1 の機能性レベル(functional level)を検出するインビトロの方法であって、対応する非転移性腫瘍における該I R F 7、I R F 9 又はS T A T 1 の機能性レベルの低下が該腫瘍の転移性表現型を示す、方法。

**【請求項10】**

分析の対象である腫瘍が原発腫瘍である、請求項1から9までのいずれか一項に記載の方法。

**【請求項11】**

前記腫瘍が乳房、結腸、腎臓、肺、皮膚、卵巣、膵臓、前立腺、直腸、胃、甲状腺又は子宮の腫瘍である、請求項10に記載の方法。

**【請求項12】**

前記転移が骨転移である、請求項9から11までのいずれか一項に記載の方法。

**【請求項13】**

前記機能性レベルが、I R F 7、I R F 9 及び / 又はS T A T 1 の絶対レベル(absolute level)について、或いはI R F 7、I R F 9 及び / 又はS T A T 1 の活性についてスクリーニングすることにより評価される、請求項9に記載の方法。

**【請求項14】**

I R F 7 機能異常によって特徴付けられる、個体の転移性癌を処置するための医薬組成物であって、該個体の I 型 I F N のレベルを上方制御する薬剤を含む、医薬組成物。

【請求項 1 5】

I R F 7 機能異常によって特徴付けられる、個体の転移性癌を処置するための医薬の製造における I 型 I F N のレベルを上方制御する薬剤の使用。

【請求項 1 6】

前記癌が請求項 1 ~ 1 3 の何れかに記載の方法によって診断可能である、請求項 1 4 に記載の医薬組成物又は請求項 1 5 に記載の使用。

【請求項 1 7】

前記癌が乳房、結腸、腎臓、肺、皮膚、卵巣、膵臓、前立腺、直腸、胃、甲状腺又は子宮である、請求項 1 4 から 1 6 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 1 8】

前記 I 型 I F N は I F N 又は I F N である、請求項 1 4 から 1 7 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 1 9】

前記薬剤は、I 型 I F N タンパク質又はその機能性断片であるか、  
I 型 I F N 又はその機能性断片をコードしている核酸分子であるか、或いは  
パターン認識受容体と相互作用する分子である、請求項 1 4 から 1 8 までのいずれか一項に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 2 0】

前記パターン認識受容体は、T L R 7 / 8 アゴニスト、又はイミキモドなどの、T o 1 1 様受容体又はR L H である、請求項 1 9 に記載の医薬組成物又は使用。

【請求項 2 1】

前記個体がヒトである、請求項 1 から 2 0 までのいずれか一項に記載の方法、医薬組成物又は使用。